

宇治市総合野外活動センター ＜アクトパル宇治＞

長期運営計画

(Business-plan)

＜社会の「成熟期」における野外活動センターのあり方＞

(概要版)



平成25年 6月

(公益財団法人) 宇治市野外活動センター

* 計画の策定にあたって

豊かな自然を生かし、市民各層の交流と余暇時間の有効活用を図るとともに、過疎化の進む地域の振興を図ることを目的として、「自然とのふれあい、自然の中での交流」をメインテーマにして、すべての市民が気軽に利用できる総合的な野外活動施設として整備が図られた。

一方、この野外活動施設をより効果的に管理・運営すると共に、野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性と責任感を育み、人々の学ぶ喜びを増進し、人々との連帯感を高めることにより、生涯学習の推進を図り、もって新しい文化と活力ある地域社会の創造に寄与することを目的として、平成11年3月24日に財団法人宇治市野外活動センターが設立された。

設立後は、施設の運営の目的に沿って、(イ)活動支援事業、(ロ)野外活動奨励事業、(ハ)野外活動体験事業、(ニ)センター管理運営事業を積極的に実施し、多くの市民の皆さんに各種の野外活動を通して、自然とのふれあいや人々との連帯感の向上に寄与してきた。

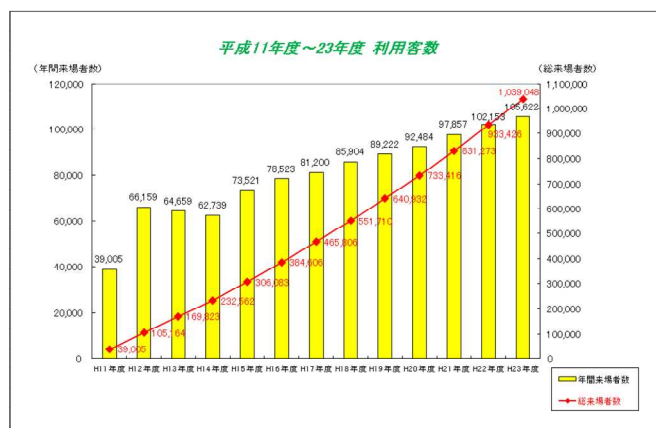
施設全体の利用客数は、オープン以来年々増加しており、平成22年度には年間利用客10万人、平成23年度には累計利用客100万人を達成した。これは、施設設立時の予定年間利用客数3万5千人を大きく上回っている。

このような中、平成23年4月1日には公益財団法人宇治市野外活動センターとして新たなスタートをし、その役割や責任がより一層増してきており、基本方針にそって今後も各種の事業の拡充が必要となってきている。

しかし、開設から13年が経過をし、施設や設備機器の老朽化が進んでいる部分も多くあり、市民の皆さんの快適で安全な活動を保障するためにも、これらの施設や機器の更新が大きな課題となってきている。

一方、少子高齢化社会が急激に進展する中で市民の野外活動に対するニーズも少しずつ変化をしてきている。

こうしたことから、当初の基本的な方向に沿って野外活動のあり方を見直し、豊かな市民生活の構築に向けて、施設や運営の環境整備を推進するため、10年先を見据えた計画を策定する。



* アクトパル宇治の果たすべき役割

開設時のアクトパル宇治のミッション（社会的な任務）は次の4つであった。

- ① 自然に対する市民の関心
- ② 生涯学習の推進
- ③ コミュニティの形成
- ④ 笠取地域の振興

これらを踏まえたうえで、今日的な課題に 대응するため、以下のミッションをさらに追加設定する。

① 成熟時代の新しいライフスタイルへの対応

人口減少が進む現代社会にあっては、これまでの量的な「成長」の時代から、生活の質を求める「成熟」の時代への価値観の変化がみられる。このような人々が求めるライフスタイルに対応することが求められている。

② 参加型から参画型への関わり方への変換

ボランティアやチャリティのように、人々を「支える」ことに楽しみや生きがいを見出す人が増えており、活動をするだけでなく、活動を支える側のかかわりの場を提供していく必要がある。

③ 交流や出会いを目的とした場の提供

地域の中で家族が孤立してきており、地域的なつながりに対する要求はますます高まっている。そこで、知らない家族同士が出会い、交流を深められる企画に取り組み、人々が助け合う大切さに気づき、さらには地域での人間関係を再構築していく力を身につける場を提供する必要がある。

④ 公益性の高い取り組み

現代社会では、個人的な利益を追求することが優先され、社会全体の利益につながる行動は影をひそめるようになった。今一度、全体社会の「公益」を考える必要があり、とりわけ公益財団法人を取得した本施設では、公益性の高い企画や取り組みをしていく必要がある。

⑤ 新たなニーズ（Unmet Needs）の開発

人々のニーズが多様化することを踏まえ、それらに対応するための施設利用法の工夫、さらにはこれまでにはなかった新たなニーズ（Unmet Needs）を掘り起こすための事業を企画していく必要がある。

* アクトパル宇治の長期ビジョン

前記のミッションを達成するため、以下の長期ビジョン（構想）を設定する。

① リピーター(Repeater)率の向上

顧客満足度を高めるために、ホスピタリティ（心のこもったおもてなし）を充実させ、職員が適切な対応ができるようにしていくとともに、アクトパルでないと得られない特徴的な活動を提供する。

② スローライフ(Slow Life)を楽しむ

ロングステイに耐えうる魅力ある事業を企画し、また、一泊だけの利用であっても、ゆっくりと過ごすことができるようなプログラムを提案する。

③ クラブ(Club)活動の拠点づくり

アクトパルで出会った利用客同士が新たにグループを形成し、そのグループ活動の場として再び利用されていくような働きかけを行っていく。

④ 自発的な(Volunteer)活動の促進

市民の自発的なボランティア活動を展開する場の提供し、ボランティアの喜びや楽しみを実践してもらう。

⑤ 多様な交流(Interact)機会の提供

同じ参加者が交流を深められる長期イベントや、隣同士になったグループが交流を深められる仕掛けを作り、新しい出会いがあるように交流の場を提供する。さらに、世代を超えた交流ができるプログラムを実施する。

⑥ 情報(Information)発信の工夫

多様なメディアを利用して、ほしい情報がほしい人に適切に届くように工夫する。SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を活用することによって、利用客同士の情報交換ができる場を提供する。

⑦ 公共(Public)性の醸成

利用客同士がお互いに気持ち良く施設を使ってもらうための工夫をし、公共の場での行動を学習して、公共性を醸成する。

⑧ 利用客と作る(Make It Together)新しい利用方法の開発

サポータースタッフの育成に取り組み、事業の企画や実施の場所を提供するなど、利用客と一緒に新しい施設の使い方やプログラムの開発をする。

⑨ 連携・アウトソーシング(Outsourcing)

施設内で完結することにこだわらず、他の施設や団体との連携や施設外での取り組みを積極的に企画していく。

* 経営戦略

長期ビジョンをより具体化するための今後の経営戦略を以下に定める。

<稼働率増加への対策>

- ① **キャンセル率を低減**
予約受付での丁寧な説明、申込方法の見直しについて宇治市と協議
- ② **多様な広報活動の展開**
ホームページの内容充実、メール登録促進、SNS活用による迅速かつ効率的な情報発信
- ③ **リピーター利用客の確保**
会員制度などの導入

<宿泊客の増加対策>

- ① **冬場の林間学習の促進**
冬季林間学習のプログラム開発、体制作り
- ② **企業や大学などの研修利用促進**
食事内容の改善、企業・大学等への働きかけ
- ③ **家族間交流事業の実施**
家族同士が交流を図れる長期イベントやクラブ化
家族向け食事メニューの改善
- ④ **長期滞在が可能なプログラムの開発**
自然観察・農業体験など笠取の特徴を生かした、2泊以上の長期滞在プログラムの開発
- ⑤ **キャンプサイト利用の促進策の検討**
テント利用の魅力を知ってもらえるプログラム開発
設備や立地の不便さに対する弾力的な運用



＜利用客の活動プログラム対策＞

① 各種事業の内容改善への取り組み

事業内容の恒常的な検証・改善

職員の資質向上、各種団体との積極的な連携



② 炊事棟の利用拡大

炊事棟やバーベキュー設備の増設について市と協議



③ 地元農家の協力による農産物の販売

笠取ファームや地元農家が作る農産物の継続販売



④ 日帰り入浴など大浴場の活用

笠取地域の配水設備整備に伴う日帰り入浴の実施

スポーツ活動と合わせた企画



⑤ アスレチック施設の活用した事業の展開

アスレチックを使った事業の企画

幼児向けアスレチック設備の検討



⑥ 散策路の活用と整備

自然観察や森林浴利用者向けの案内等の整備

イベントへの組み込み

⑦ グラウンド・ゴルフ場の活用

施設の適切な管理とともに、外部団体との連携、

既存施設との一体利用

イベントへの組み込み



＜その他＞

① バスなどの交通手段の確保

路線バスの要望

送迎シャトルバスの導入検討

* 施設（設備）の更新と再整備

施設整備については、平成 22 年度に宇治市教育委員会において調査のうえ策定された長期修繕計画に沿って整備していくこととするが、前記の経営戦略を遂行するうえで必要とされるものについては前倒しして行う。

1. 管理棟

<浴室>

上水道接続に伴い全面改修

<電気設備>

自動制御装置等の電気設備の順次更新

2. 宿泊棟

<屋根>

防水工事の適期実施

<渡り廊下、デッキ>

木造部分腐食対策を含む全面改修

3. 山の家

屋根材の葺き替えをはじめ、早期の全面改修（設置後 20 年経過）

4. グラウンド・ゴルフ場

芝修復工事の早期完成

5. 炊事棟

雨漏り対策、かまど更新、照明設備改善、バーベキュー設備の拡大

6. 工作棟

雨漏り対策、木造デッキ改修、陶芸窯の更新

7. 体育館

雨漏り対策、木造部分腐食対策

8. 集いの広場周辺

木造部分腐食、地盤沈下に対する早急な改修工事

9. アスレチック

適時修理および幼児用ミニ・アスレチック整備

10. 散策路

急勾配解消、休憩場所・観察用建物・森林浴設備の設置

* 地域との連携と活性化

1. (有)笠取ファーム

施設の運営管理を行う法人「公益財団法人宇治市野外活動センター」と、食堂・売店の運営および植栽・清掃業務を行う「有限会社笠取ファーム」は施設運営の両輪として活動してきた。笠取ファームは地元住民で組織され、住民の就労、地域の活性化などに寄与してきた。

<課題>

地域住民の高齢化に伴う職員の人手不足

食堂経営における食事の内容改善

<対策>

食堂経営のあり方の検討委員会の立ち上げ

笠取ファームと財団双方の代表者による定期経営者会議



2. 地域との連携

地域の持つ文化や技術・資源・人材を生かし、アクトパルの事業を通じて地域との連携や地域の活性化を図っていく。

* 運営組織の確立

1. 役員体制の強化と事務局との連携

役員選任には、野外活動や法人経営に関する知識や経験などを重視
事務局と日常的に意見交換の場を設け、連携を強化

2. 事務局体制の確立

<事務局体制>

正職員の増員を図り、2班体制等も視野に体制改善

<夜間体制>

夜間専任職員の配置あるいは宿直の2人体制など夜間対応の改善

3. アカウンタビリティ（説明責任）

法人の施設運営方針や事業内容について広く市民に公開していくと共に、予算執行や決算内容等についても法令や法人の規則により公開していく。

4. コンプライアンス（法令等遵守）

個人情報の保護や守秘義務等について、法令や規則をすべての職員が理解し推進していく努力をより一層強める。また、受付事務など法人業務全般についても常にコンプライアンスを意識し実施する。

5. 危機管理

危機管理意識を常に持ち、業務を遂行する。利用客の安全を最優先に考えた危機管理計画を策定し、これに基づく危機管理体制の確立を図る。